

第10回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会 会議録

日時：令和3年7月20日(火)18:45～19:45

場所：多治見市立笠原小学校 会議室

【出席者】

委員：水野(豊)委員、小木曾委員、河尻委員、渡邊委員、鈴木(千)委員、
稲葉委員、森本委員、加藤(明)委員、加藤(智)委員、前田委員、
鈴木(稔)委員、中嶋委員、河地委員、林委員

事務局：教育長、副教育長

教育推進課 矢野、山田、田中、横山

教育総務課 長谷部、高田、中島

教育研究所 久野

【欠席者】

委員：なし

(要点筆記)

開会	
会長	・第10回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を開会します。
次第1 教育長挨拶	
教育長	・夜分お忙しいところお集まりいただき、心よりお礼申し上げます。明日から夏休みに入ります。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響による一斉休校のため、日本一暑い多治見で日本一短い夏休みとなりました。今年は、通常どおりの夏休みを迎えられるため、子どもたちにはたくさんの楽しい思い出を作ってほしいと思っています。先週、食育センターの竣工式を行いました。食育センターは、給食調理場と併せて食育の拠点にしていきたいと考えています。笠原町から食育センターまでは距離がありますので、笠原ショッピングプラザ「マイン」さんに新設されたキッチンコーナーを活用して食育活動を推進していきたいと考えています。本日は、本研究会で議論してきました基本構想(案)の最終確認となります。皆様からたくさんのご意見を盛り込んで完成したこの基本構想(案)を、後日、会長から市長へ提出していただきます。基本構想(案)についてはこれで終了となりますが、今後も適宜ご意見をいただければ幸いです。本日もどうぞよろしくお願いいたします。
次第2 (仮称) 笠原義務教育学校整備基本構想(案)の最終確認について	
会長	・次第2「(仮称) 笠原義務教育学校整備基本構想(案)の最終確認」のソフト面である前半部分について事務局に説明を求めます。
事務局	(事務局より前回からの修正箇所を説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・「(5)(仮称) 笠原義務教育学校の学年段階の区切り」に「その時々为学校長の判断により変更となることも想定されるため」とありますが、

	開校後は、途中で学年段階の区切りを変更しない方が保護者にとっては安心できると思います。
事務局	・義務教育学校である桑原学園の学校長に電話でお尋ねした時に、学年段階の区切りを最近変更しましたという話がありました。基本構想(案)の内容としては、その時々の変化に柔軟に対応できることが大切だと考えています。
委員	・学年段階の区切りについて、その設定を公にするか、学校内の運営事項として一般的には公にしないのか、どちらになるのでしょうか。
委員	・教育課程は常に工夫・改善していくものであるため、学年段階の区切りについて、現状と設定変更の可能性があることは公にしておくべきだと思います。また、安易に変更があっては保護者や子どもたちが混乱してしまうため、十分説明し理解を得てから変更することが大前提だと思います。
委員	・どんなによい意図やねらいがあっても、説明や理解が不十分であると、混乱を招いたり不信感を生むことになってしまうので、そのことを十分念頭に置いた学校構想・学校運営を願います。
会長	・次第2「(仮称)笠原義務教育学校整備基本構想(案)の最終確認」のハード面である後半部分について事務局に説明を求めます。
事務局	(事務局より前回からの修正箇所を説明)
会長	・只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	・ライフサイクルコストとはどのようなもののでしょうか。
事務局	・建物を利活用する期間をライフサイクルと呼び、その期間内に発生する修繕やメンテナンスに係る費用のことです。この費用を低く抑え、長期間使用できることを目指しています。
委員	・体育館についてですが、器具庫やステージも内容に盛り込まれているということでしょうか。また、ステージについては、常設であったり移動式であったりしますが、どのようなものになるのでしょうか。
事務局	・屋内運動場という記載内容に含まれているという認識です。ステージの形態については、常設が一般的だと思いますが、設計事務所からの提案内容で検討していきます。
委員	・部活動で使用する部室についても内容に盛り込まれているということでしょうか。
事務局	・14ページ「イ_グラウンド」の「必要な容量の収納施設を確保します」に含まれているという認識です。部活動の数と種類に影響する部分ですので、今後の進捗状況に合わせて対応していきたいと思います。
委員	・表記が「児童生徒」である場合と、「子ども」である場合がありますが、小・中学校の9年間に関わる場合は「児童生徒」、そうでない場合は「子ども」というような統一された使い分けで表記されているのでしょ

事務局 委員	うか。 ・一部使い分けが不統一となっていますので修正します。 ・エアコンや太陽光パネル等については、どの程度まで表記するものでしょうか。
事務局	・空調設備については15ページ「Ⅲ_設備関係」に記載しています。エアコンは、他校と同じようにガスヒートポンプ式を指定しており、太陽光パネルの設置も想定していますが、ライフサイクルコストを含めて検討していきます。
委員 事務局 委員	・小泉小学校には、エアコンと太陽光パネルは設置されていますか。 ・両方とも設置してあります。 ・プールの更衣室については表記なしでよいのでしょうか。小泉小学校を見学した時に更衣室が少し狭いと感じたため気になりました。
事務局 委員	・プールの欄に、更衣室についての表記を追加します。 ・教材室についてですが、実際の学校現場では、どのような使用状況でしょうか。
委員	・最近はデジタル化が進んでいるため、昔のように教材室から大きな年表等を頻繁に持ち出すといったことはなくなりました。ただし、それほど大きくない地球儀や円柱といった具体物は授業で使用しています。
委員	・教材室は、それほど小さくなくても大丈夫ですし、教科ごとに専用である必要もありません。例えば、以前赴任した学校では、この部屋（笠原小学校会議室）の4分の1ぐらいの広さで、国語、数学、社会の資料・教材を混在して保管していました。
会長	・今回いただいた意見を踏まえまして、「（仮称）笠原義務教育学校整備基本構想（案）」を完成としてよろしいでしょうか。また、今回出た修正箇所についての最終確認は、会長へ一任していただくということによろしいでしょうか。賛成の方は挙手を求めます。
委員 会長	（全員一致で賛成） ・それでは、異議ありませんでしたので、後日、私が修正箇所について最終確認を行いまして「（仮称）笠原義務教育学校整備基本構想（案）」を完成といたします。
次第3 幼稚園・保育園への周知チラシについて	
会長	・次第3「幼稚園・保育園への周知チラシ」について事務局に説明を求めます。
事務局	（事務局より説明）
会長	・小学校と中学校は5月に、幼稚園と保育園は7月に保護者へチラシを配布し、令和8年4月に義務教育学校が開校予定であることの周知がひとまず完了したとのことですが、只今の説明について、意見・質問等はありませんか。
委員	（意見・質問なし）

次第 4 その他	
会長	・ 次第 4 「その他」に移ります。本日で、基本構想(案)に関する本研究会は最後になりますので、小・中学校の両校長よりそれぞれ一言ずつお願いします。
委員	・ 本日、4 月から子どもたちと過ごしてきた学校生活にひとつの区切りがつき、明日から夏休みということで、子どもたちを無事に家庭へ帰すことができました。特にこの 2 日間は暑さによる下校時の判断に苦慮しました。信頼度の高い気象庁からの情報を細かに収集し、WBGT（暑さ指数）の数値を常にチェックし、場合によっては教職員を同伴させたり、学年下校にすることで高学年が低学年を見守れるようにするなど、安全な下校に全力を注ぎ、何とか実現できてほっとしています。 本日最後の集会では子どもたちに、ありのままの自分を大事にしてほしいと話しました。教職員にもこれから実施する懇談会時には、保護者と一緒になって子どもについて考え伝える内容にするよう話しました。 夏休み明けの 8 月 27 日には、子どもたちが元気に登校してくれることを願っています。本日はありがとうございました。
委員	・ 昨年の修学旅行はコロナ禍により日帰りでの実施となりましたが、今年は子どもたちの学びを極力止めることのないよう、3 月から計画・対策をしてきました。2 回の延期が発生し、3 年生の保護者のみなさんには 6 日間も弁当をお願いすることになってしまいました。しかしながら、PTAの方々からも修学旅行の実現を応援いただき、学校側だけの願いではないということで力と自信になりました。結果、無事に宿泊を伴う修学旅行を実施することができ、子どもたちが本当に喜び学ぶ姿を見られて大変うれしかったです。 本日、基本構想(案)が完成し、義務教育学校に向けて大きく前進したことを嬉しく思います。今後気になることとして、色々な委員会やワーキンググループで話し合っていくことになると思いますが、制服やカバンやジャージについてがあります。すぐに決められるものでもないため、それほど時間が残っていないとも言えます。開校までしっかり見通しを持って、これからも進めていってほしいと思います。本日はありがとうございました。
委員長	・ 最後に何でも結構ですので、質問や意見はありますか。
委員	・ 開校後も、現在と同じ制服という考えはありますか。
委員	・ 男女の区別をなくすという動きがあり、過去にも女生徒のズボン希望がありました。子どもたちのアンケートからもジャージについての意見があったため、新たな学校となるこの機会に、制服やカバンやジャージを一新した方がいいと思います。
委員	・ 小学校の下校時に、短時間の集中豪雨が起きた場合はどのような対応をしていますか。

委員	・気温と同様に気象庁のデータをこまめに見て対応を判断しています。
委員	・学校から家までの距離は各自異なるため判断が難しいとは思いますが、豪雨の中で下校している児童を見ることがありました。
委員	・雨雲の状況をこまめに確認し、小・中学校で連携して調整はしていますが、雲の動きは複雑で変化が激しいため、対応の判断には常に苦慮しています。
委員	・17時を過ぎても豪雨であった場合は引き取りなども考えています。
会長 事務局	・続きまして、事務局から事務連絡をお願いします。 (事務局より事務連絡)
次第5 今後のスケジュールについて	
会長 事務局	・次第5「今後のスケジュール」について事務局に説明を求めます。 (事務局より説明)
教育長・副教育長挨拶	
会長	・本日で、基本構想(案)に関する本研究会は最後になりますので、最後に、教育長及び副教育長よりそれぞれ一言ずつお願いします。
教育長	・全10回の会議にご出席いただきまして心よりお礼申し上げます。全ての会議を通して欠席者が1人もなく、皆様がこの笠原町及び教育現場へ強い想いを持たれていることを実感しました。ひとつ残念であったことは、義務教育学校の先進校への視察が、コロナ禍により中止となってしまったことです。また機会がありましたら計画したいと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。昨年からの長い間、誠にありがとうございました。
副教育長	・全10回の会議にご出席いただきまして心よりお礼申し上げます。本日も最後まで、文言や心配な点等についてご指摘をいただき、中身の詰まった基本構想(案)を完成していただきました。また、研究会の委員だけでなく、チラシ等を通して地域の方にも周知できたこと、子どもたち、保護者、教職員の意見を聞くことができたこと、これらによりまち全体での学校が出来上がっていくことに改めて感謝申し上げます。昨年からの長い間、誠にありがとうございました。
閉会	
会長	・以上で、第10回多治見市笠原幼保小中一貫教育研究会を閉会します。

—以上—